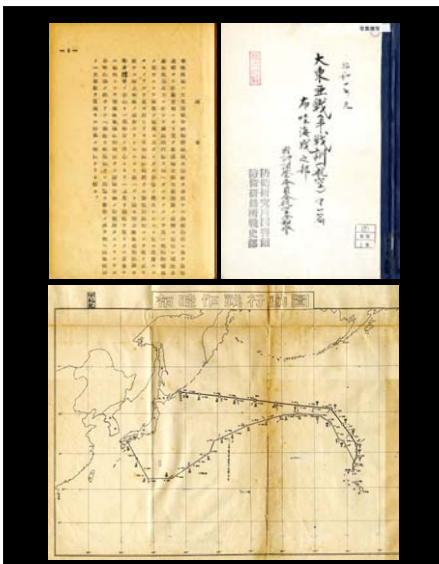


・・・・・・「史料紹介コーナー」・・・・・・

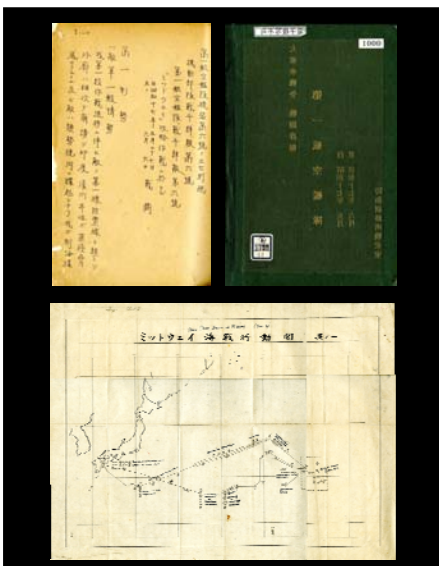
平成27年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 ^{なぐも}南雲 ^{ちゆういち}忠一 1887～1944年 《
 —山形県出身の海軍大将—



大東亜戦争戦訓（航空）第一篇（登録番号：①中央-戦訓-15）

南雲忠一大将は、明治41年11月、海軍兵学校（36期）を卒業後、海軍大学学校校長などの要職を務めた後、昭和16年12月8日のハワイ作戦で、第1航空艦隊司令長官（当時中将）として空母機動部隊を指揮します。この史料は、機動部隊戦闘詳報を基に作成された「大東亜戦争戦訓（航空）第一篇（布哇海戦ノ部）」（昭和17年9月2日調製）で、ハワイ作戦の計画や経過概要並びに戦果が、行動図とともに収録されています。そして同「戦訓」では、ハワイ作戦は「好機ヲ捕捉シテ奇襲ニ成功」したが、「当時敵航空母艦出動シテ所在不明ナルト攻撃主目標ヲ戦艦ニ置キタル為航空母艦ヲ撃滅シ得ザリシハ遺憾ナリシモ戦艦撃沈四隻撃破四隻撃破炎上セン飛行機約五〇〇機ニ及ビ（中略）爾後ニ於ケル全般作戦指導ヲ容易ナラシムルヲ得タリ」と評しています。



第1航空艦隊戦闘詳報（登録番号：④戦訓詳報戦時日誌-11）

昭和17年6月、再び機動部隊を率いてミッドウェー作戦に参加した第1航空艦隊司令長官南雲中将は、空母4隻とその艦載機多数を失うという大損害を被ります。この史料は「第1航空艦隊戦闘詳報」（昭和17年5月27日～同年6月9日）で、ミッドウェー作戦の計画や経過概要並びに戦果が、行動図及び合戦図などとともに収録されています。そして同「戦闘詳報」の最後において、「本作戦ハ各部隊各艦ノ奮戦目覚シク敵ニ与ヘタル被害甚大ナルモノアリタレドモ我亦空母四隻ヲ失ヒ『ミッドウェー』攻略ニ頓挫ヲ来セリ」、近き将来生起すべき敵の反撃に警戒を要するとともに、本作戦の「戦訓ヲ生カシテ航空母艦将来ノ用法ニ資スル要切ナルモノアリ即チ索敵ノ強化 集合分散配備ニ対スル柔軟性並ニ敵発見ニ当リテハ急速ナル飛行機発進等之ナリ」と記しています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影こともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
 防衛研究所企画部企画調整課
 専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）
 外線：03-3713-5912
 FAX：03-3713-6149 ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>